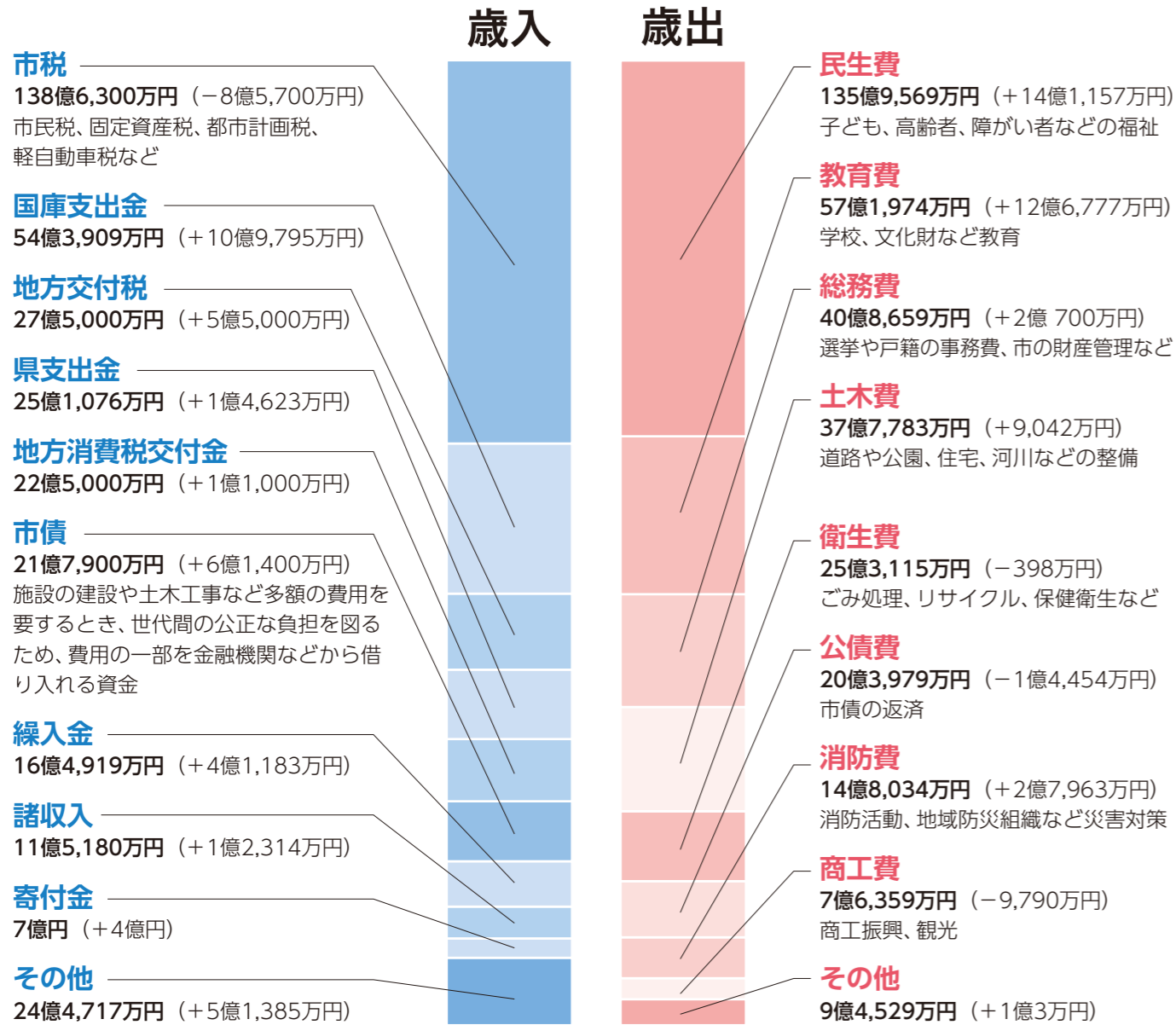


令和6年度の予算

一般会計 349億4,000万円 (カッコ内は前年度比)



企業会計

会計	金額
水道事業	28億3,500万円
下水道事業	48億1,800万円
合計	76億5,300万円

特別会計

会計	金額
国民健康保険事業	99億100万円
後期高齢者医療	18億6,200万円
介護保険	79億8,970万円
自家用工業用水道事業	1億6,200万円
可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業	3億1,780万円
財産区	2,310万円
合計	202億5,560万円

予算の内容を一冊にまとめました

市政経営計画と令和6年度予算

住みごこち一番・可児を目指して

秘書政策課、財政課

令和6年度から4年間の重点的な取り組みを定めた市政経営計画を策定しました。その概要と計画に基づく令和6年度の予算や主な事業を紹介します。

暮らしやすさ、よさ
可児の魅力を伸ばす



人口急増を背景とした市制施行から40年以上が経ち、本市も全国の地方都市と同様に、人口減少や少子高齢化といった課題に加え、DX^{※1}やGX^{※2}の推進など、新たな取り組みが求められています。

一方で、社会保障費の増加や物価高騰による光熱水費などの増加、公共施設の維持更新など、必要経費の増加傾向は当面続くものと思われれます。今後も、少子高齢化による生産年齢人口の減少により市税収入の大幅な増加は見込めず、実施する事業のさらなる選択と集中が必要となります。

そのような中で、持続可能性を確保しつつ、さまざまな課題に対応するため、新しい市政経営計画を策定しました。この計画に基づき、まちの将来を担う地域の宝である子どもたちの笑顔につながる取り組みの強化や、特産品のブランド化、可児御嵩インターチェンジ工業団地への企業誘致など、将来を見据えた事業を進めてまいります。

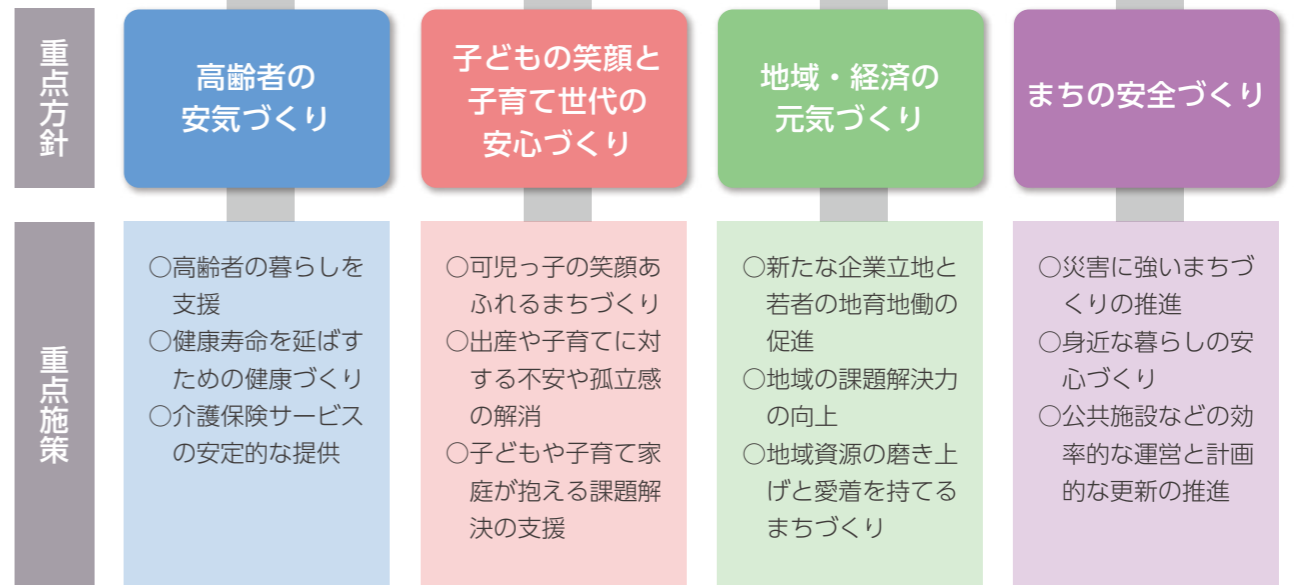
令和6年度は、新しい市政経営計画のもとで、「暮らしやすさ」という可児の魅力を伸ばすことに全力を尽くしてまいります。

市政経営計画の概要

目指す将来像

住みごこち一番・可児

～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～



※1 デジタルトランスフォーメーションの略称。デジタル技術を活用し、人々の生活をより良いものへ変革すること。
 ※2 グリーントランスフォーメーションの略称。温室効果ガス排出削減と産業競争力の向上に向けた経済社会システム全体の変革。

①赤ちゃんがお腹にいるときから



子育て家庭を応援
住宅新築リフォーム助成金(子育て世帯上乘せ)
(1,200万円) **充実**

市内事業者を利用して、住宅の新築またはリフォームを行う子育て世帯に対して、子ども1人につき5万円を通常の補助金に上乘せして助成します。

②子どもとの暮らしが始まったら



育児で不安を抱え込まないように
子育て世帯訪問支援事業(140万円) **新規**

家事や子育てなどに対して不安や負担を抱えた子育て家庭や妊産婦などがある家庭を訪問し、家庭や養育環境を整える事業を行います。

③保育園や幼稚園に入ったら

保護者や子どもをしっかりサポート
保育園・幼稚園関連経費
(21億8,545万円) **充実**

保育園や幼稚園の運営・支援を行いながら、保護者の多様なニーズに対応します。配慮が必要な子どもが安心して通園できるよう、加配保育士の配置費用の助成を拡充するなど、保育の支援体制を強化します。

令和6年4月から、3歳未満児の新たな受入先として「しあわせいっぱい保育園 今渡」(小規模保育事業所)が開園しました。



④小学校・中学校に入ったあとも



**友達といっぱい遊んで、
いっぱい勉強できる環境づくり**
小中学校施設大規模改造事業
(12億2,150万円) **充実**

照明のLED化やトイレの洋式化などの改修、老朽化した建物の長寿命化など、子どもたちが安全に安心して過ごせる学校施設の整備・充実を図ります。

建築から40年以上経過した桜ヶ丘小学校の長寿命化工事を令和7年度末完了に向けて実施し、引き続き安心して学校生活を送れるようにします。また、学校トイレの環境改善のため、全校校トイレの洋式化工事を令和8年度末完了に向けて進めます。

学校生活支援事業(2億9,133万円) 充実

スクールサポーターや通訳サポーターを配置し、小中学校の児童生徒の学校生活を支援するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを充実させ、困りごとの解消を図ります。また、医療的ケアを必要とする児童のため、看護師を新たに配置します。

**全ての子どもの居場所を
スマイリングルーム増設関連経費
(8,272万円) 新規**

不登校児童生徒の支援の場であるスマイリングルームを新たに老人福祉センター可児川苑内に開設します。子どもと学校や家庭をつなぐ各種サポーターを増員するとともに、インターネット上に教室を模したメタバース空間などを活用し個々のニーズに合わせた不登校支援を行います。

**病気の予防のために
インフルエンザ予防接種費助成
(2,390万円) 充実**

1歳から中学3年生と高校3年生相当の子どもへのインフルエンザ予防接種費用に対して1回あたり上限2,000円の助成を行います。

重点方針 **高齢者の安気づくり**

高まる介護サービス需要に対応
介護サービス給付関連費(73億2,970万円)

高齢化とともに介護サービスを必要とする人が増えている中、介護サービスを安定的・継続的に提供していきます。

介護人材確保対策事業(243万円) 新規

介護職員の確保、定着を図るため、初任者研修への各種助成や外国籍の介護職員受け入れに対する助成などを行います。

いつまでもすこやかに、毎日をおだやかに
高齢者サロン支援・介護予防普及啓発事業
(1,997万円)

地域で高齢者サロンを開催している団体に支援を行い、高齢者の交流の場やふれあいの機会をつくります。また、介護予防普及啓発事業として、地区センターなどで簡単な体操や脳トレなどを行う「まちかど運動教室」を開催します。高齢期に健康で自立した生活を続けられるようにするために、フレイル(「健康」と「要介護」の中間の段階)の予防につながる取り組みを進めます。



まちかど運動教室の様子

高齢者の足を確保
移動支援事業に対する車両貸与
(250万円) **新規**

高齢者の移動支援を行う団体に対し、市が車両を無償貸与し、事業の継続につなげ、高齢者の移動手段を確保します。



桜ヶ丘ハイツ地区社会福祉協議会の移動支援の様子

フレイルを防ぐ3つのポイント

①**栄養**

食事の改善、口腔機能の改善



②**身体活動**

ウォーキング、ストレッチなど



③**社会参加**

趣味活動、就労、ボランティアなど



フレイル予防のために

スポーツによる魅力づくり

運動公園整備事業 (6億121万円)

市民スポーツの拠点である坂戸市内の可児市運動公園を多くの人が集う多世代交流の場として、さらに広域的な防災拠点として令和8年度の完成に向けて整備します。既存のカヤバスタジアムやテニスコート、弓道場などを含めて、運動公園に行けばさまざまなスポーツができる総合的な体育施設を目指します。

地域産業の担い手づくり

子ども・企業マッチング支援事業

(100万円) 充実

職場見学やワークショップなどの開催により、親子で楽しみながら市内企業を知る機会を提供し、市内企業への若い世代の就業の促進につなげます。

地域経済の活性化に向けて

工業団地開発事業 (2億8,912万円)

可児御嵩インターチェンジ隣接地の工業団地開発において、第2工区の造成工事を継続します。第1工区に関しては令和6年度中の分譲に向けて企業誘致を進めます。

特産品開発事業 (510万円) 新規

令和5年6月に包括連携協定を結んだ株式会社良品計画と共同で地域商社を立ち上げ、可児市の特産品のブランド化を推進する事業の開始を目指します。



職場見学&ワークショップバスツアー

災害に強いまちづくりを

防災行政無線デジタル化工事 (3億円) 充実

防災行政無線の老朽化に伴い、デジタル化への更新工事を進め、災害時の情報伝達手段として安定的に利用します。

避難所標識更新・設置工事 (720万円) 充実

外国籍の人をはじめとして、誰もが避難所と分かるように、避難所標識に外国語やピクトグラムを掲載したものに更新します。

市内の道路を安全・快適に

道路舗装工事 (1億9,000万円)

団地内などの生活道路を安全に快適に通行できるように、道路の舗装改良工事を計画的に進めていきます。

いつでも安定した水道水の供給のために

水道施設の耐震化・更新 (3億4,605万円)

災害時でも安定した水が供給できるように、送水管などの耐震化を図るとともに、将来の維持管理費などを考慮して配水施設の集約などにより効率的な配水を行います。



更新後の避難所標識

ピクトグラム

洪水/内水氾濫
Floods/Flood from inland waters
Enchente / Transbordamento de Água

外国語

土石流
Debris flow
Desmoronamento de Terras e Pedras

